

福祉文化通信

～well-beingへの道～

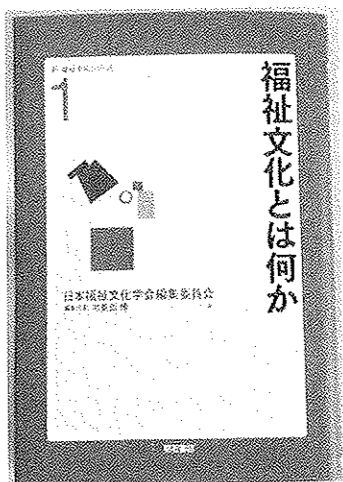
2012.7.1
vol. 68

●発行所／広報委員会
稲田泰紀 安倍大輔 河西正博
関矢秀幸 馬場 清
●レイアウト・印刷／飛来社

日本福祉文化学会事務局 〒165-0026 東京都中野区新井 2-12-10 芸術教育研究所内 Tel/Fax: 03-5942-8510 E-mail: fukushibunkabito@nifty.com

福祉文化シリーズ第一巻

「福祉文化とは何か」(明石書店)



編集代表
河東田 博

今なお「福祉文化」という概念がよくわからないため、何を契り所に学会活動を行ったら良いのかわからないという声が多く、このことから聞かせてくる。

これは、日本福祉文化学会が「福祉文化活動の魅力」を会員各堂へ伝え、会員として一緒に歩んで行ってもらおうとするための「第1」(研究・実践の融合とその方法)を持ち合わせていないからだと思えらる。

そこで、「新福祉文化シリーズ」の編集を通して、「福祉文化とは何か」を見出し、いくための作業に取り組み、「福祉文化」概念を確立することは困難でも「福祉文化活動」に対する会員各位の思いを通して、「福祉文化とは何か」を整理していこうと考えた。

日本福祉文化学会は、他の学会

とは「何かが違う」と感じることのできるユニークな学会である。私たちはこの「何かが違う」という魅力に取りつかれて今日まで来た。

そこで、シリーズ第一巻では、理事各堂にじっくり「福祉文化活動の魅力」を語っていただき、他の学会とは「違う何か」を見出す努力をしていこうと考えた。時代の流れやニーズに合った新しい動きや体制づくりを模索していく努力やそのプロセスの中で、「福祉文化活動」に関する「魅力ある何か」を引き出し語っていただこうという趣向である。

(あらすじより抜粋)

■興味ある方は
書店ならびに事務局まで

関西ブロック

現場セミナー報告

現在、日本は都心への人口集中と、一方で周辺地域の過疎化、限界集落が進んでいます。

現場見学
【第一部】現地の人々との座談会・現地見学
【第二部】「丹波市定住支援事業の現状と課題」神地寺地区の今と昔
【第三部】懇親会
(現地の人々との交流)



(2)3月20日(祝日)

【第一部】丹波の正倉院と呼ばれる本影仏の原郷。蓬身寺参拝
【第二部】シンポジウム
テーマ：「過疎集落丹波市の高齢者の暮らしを考える」
福祉文化学会として何ができるか、それは、田舎の文化や自然の文化を次の世代につなぐことでしょうか。・。学会員間で考えていきたいと思いました。

地元のの方に私達に求めたいことを伺ったところ、「多くの学会は物事を都合の目線で見ている。現場セミナーをするのであれば、田舎からの発信に耳を傾け、目を注いで欲しい」とおっしゃっていました。

新規加入会員の紹介

2012年5月25日までにご入会された方の所属ブロックとお名前をお知らせ致します。
個人会員：(北海道)大橋美雪(関東)佐藤綾子、西村明子、野田晃生(中部東海)渡辺勤持、村田泰弘(中国四国)木内哲、橋本由起子(関西)長尾玲子
団体会員：HBB(Happy and Beon Buddy)
(敬称略)

事務局より

4月21日に会員一斉発送を行い、会費、研究誌、実践報告集、岡山全国委員会案内などをお送りいたしました。会費の納入、大会参加、研究誌や実践報告集への投稿、心よりお願い申し上げます。
併せて、新規会員入会促進を会員お一人、お一人協力いただきました。重ねてお礼いたします。

2012年度
日本福祉文化学会
現場セミナー

東日本大震災 「被災地から学ぶ」 開催のご案内

日時：9月10日(月)11日(火)
開催地：気仙沼・大島
参加費：7,000円
(1泊2食付き)
(旅費は各自負担)
内容：容：気仙沼・大島の人々と
車座交流会を主催
(詳細は別紙要項参照)
参加定員：先着15名まで
*申込みは日本福祉文化学会事務局まで(電話・メール・Fax)

倉敷で お待ち しています。

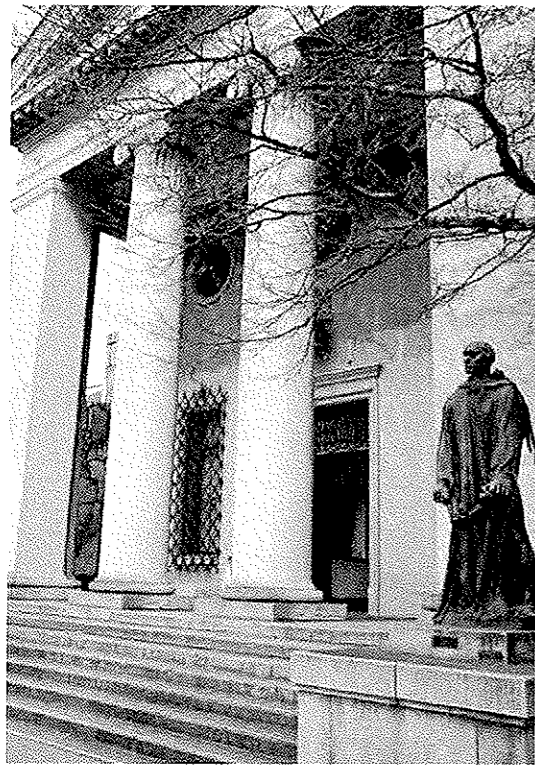
実行委員
一同

テーマ：倉敷と福祉文化

— 21世紀の地域の絆と福祉を考える —

日時：平成24年9月29日(土) 30日(日)

会場：倉敷芸文館アイシシアター



1日目

- 9月29日(土)
- 10:00 オフション
- 「大原美術館
レクチャーツアー」
- 13:00 開会式
- 13:30 記念講演「住民力と絆」
講師 菅波 茂氏
(特定非営利活動法人
AMD A理事長)
- 15:00 ミニコンサート
若い芽を育てる会
- 15:30 分科会
 - ① 研究と実践の融合
 - ② 地域文化の福祉的実践
 - ③ 災害支援と福祉文化

2日目

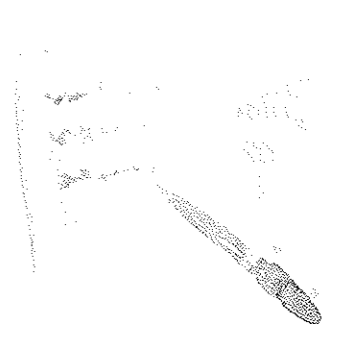
- 9月30日(日)
- 9:00 総会
- 10:00 研究発表
- 12:30 テーマソング演奏等
- 13:00 「公開講座」
シンポジウム
テーマ：倉敷から発信する
地域の絆
- 15:30 閉会式
— 街と福祉のハーモニー —

近年、少子高齢化の進展に加え地域連帯の希薄化等を背景として「孤独死」「無縁社会」「老老介護」などがマスコミで取り上げられ、大きな社会問題となっています。さらに東日本大震災以来、人と人・地域との絆の大切さが注目されるようになりました。このような中で、地域の絆と福祉コミュニティの構築がますます重要となってきました。

今回の福祉文化学会全国大会岡山(倉敷)大会では、近代日本の福祉の先人を輩出した岡山・倉敷の地から21世紀の地域の絆と福祉を考え、今日の地域コミュニティの在り方を福祉文化の視点から探ります。

2012年度の 福祉文化学会ブロック及び委員会方針

～それぞれのブロック、委員会における今年度の取り組みを紹介します～



東北ブロック

大澤澄男

理事会の推薦により東北ブロック理事に選出されました。東北ブロックは現在のところ学会員数も少なく、各県の組織化も活動も進んでおりません。大震災の影響による課題も多いだけに福祉文化の創造を掲げる学会の役割も期待されると思います。

ブロック内会員が連携し組織化し、具体的活動を展開し会員数増を目指したく計画を進めましょう。ご支援ください。

関西ブロック

岡村ヒロ子

関西ブロックでは現在、「災害支援の調査研究」に取り組んでいます。息の長い研究になりそうです。さらに限界集落に着目した現場セミナーを続けています。もっと地域住民の方巻き込んだ企画に広げていかなければ

らんを考える。そんな場になれたいと思います。ふるってご参加ください!!!

福祉文化実践報告集

遠藤美貴

2012年度の「福祉文化実践報告集」は2013年3月に発行予定です。2012年12月末日締め切りで原稿募集をおこないたいと思いますので、会員のみなさまの12月の実践をこの機会にまとめ、報告してみください。

なお、投稿規程が改訂されており、詳細は学会HP「福祉文化実践報告集」ページの「投稿規程」をご確認ください。よろしくお願ひします。

企画委員会

多田千尋／マールー寛子

理論と実践の融合、地域の中から福祉文化を掘り起こすといった当学会の伝統を踏まえ、岡山大会での分科会「実践と研究の

「災害と福祉文化」委員会

渡邊 豊

ばと思索しています。他のブロックとのコラボレーション、大歓迎です。会員の方には学会のホームページをもっと開くように働きかけたいと思っております。

（新潟福祉文化を考える会 新潟県社会福祉協議会）
もう災害は起きてほしくありません。しかし、ひとたび起きたらば、過去の災害への対応を教訓に、支援者の英知を糧に、患直に実践し続ける以外に希望、打開策は見い出せません。

学会として組織的な対応が必要なきには、会員の皆様の力を結集して支援にあたりましょう。よろしくお願ひします。

総務委員会

木村たき子

総務委員会の活動は、月1回の事務局会議、将来構想委員会の

融合ワークショップ「地域文化の福祉的実践」の開催を目指します。また、高齢者アクティビティ開発センターとの共催で来年の3月9日・10日に立教大学で、「アクティビティケア実践フォーラム」の開催を目指します。

全国のレクリエーション・アクティビティ実践を集め、実践者と研究者の相互のフィードバックの質を高めることを目的としています。

福祉文化研究編集委員会

磯部幸子

21号の特集で取り上げた「震災の被災者から学ぶ」という視点については、22号でも引継ぐ予定です。具体的には「震災その後」と震災で見えてきた「生活基盤の再構築」の視点で問題点を明らかにしていく特集方針を決定しました。

「福祉文化研究23号」の投稿原稿は8月末日締め切りで、現在受付中。多数の応募をお待ちしています。

研究委員会

國光登志子／馬場清

会議への参加の他に、他の委員会ではなかなかできないところの仕事をしようということでも活動を続けています。
また、学会組織が新体制でスタートしたことをきっかけに、全学会員にアンケート調査を行いました。多くの会員の皆さまからご返答をいただき、その結果は通信とHPでお知らせを致しました。

研究委員会では、この7月より3年間にわたって「福祉文化よもやまゼミナール」を開催します。「福祉文化」をよくわからない」という方、「現場でもっと文化的なことをやりたいのになかなかできない」と思っている方など、会員ならどなたでも参加できます。

これまでの研究の蓄積の上に立ちながら、現代社会における「福祉文化」のあり方をざっくり

広報委員会

稲田泰紀

広報委員会では、「福祉文化通信」を今年度3回発行予定としております。また、ホームページの運営管理・メルマガの発行も随時行います。今年度、ホームページ上で「会員の声」を掲載し、会員同士の情報交流もおこないます。（会員の声をお寄せいただいた方に缶バッジを進呈します。詳細やメルマガ登録などご希望の方は事務局まで）

「関東ブロック研究交流会」開催

梅津迪子

日時：8月4日（土）

13：00～16：00

会場：立教大学池袋キャンパス

7号館17201室

「認知症高齢者の一人暮らしはどこまで可能か」事例をとおして「方法と問題を考える」
認知高齢者支援実践者+研究者+福祉施設職員の研究交流会。申込みは事務局まで。

20年の歩み

1989年発足から1992年までの主な活動をレイアウト

1989年

大会
福祉文化学会発会式
於：日本女子大学

第1回福祉文化シンポジウム
於：日本女子大学

「自ら創り、自らつかむ福祉文化」
パナールディスカッション「生活文化としての福祉創造」
尾山寛代（地域福祉研究会ゆきわりそう代表）、藤岡貞彦（一橋大学教授）、一番ヶ瀬康子（日本女子大学教授）
分科会

①スポーツと福祉文化

②生活と福祉文化

③おもちゃ・遊びと福祉文化

④音楽と福祉文化

1990年

大会
第2回福祉文化シンポジウム
於：日本女子大学

「すべての人が生き生きとくらすために」
映画上映『まさあきの詩』
パナールディスカッション

呉徳殊（映画監督）、大田堯（東京大学名誉教授）、一番ヶ瀬康子（日本女子大学教授）

本女子大学教授

現場セミナー
第1回福祉文化現場セミナー
於：特別養老老人ホームさくら苑（神奈川県）

「ホームが文化を創る時代」
1991年

大会

第3回福祉文化シンポジウム（共催：栃木県社協）於：宇都宮市
高齢者・障害者のためのファッショ

ンショー
養育音楽コンサート
分科会

①遊びと福祉文化

②食と福祉文化

③衣服と福祉文化

④街づくりと福祉文化

現場セミナー
第2回福祉文化現場セミナー
於：愛知たいようの杜（愛知県）
「遊びをせんとや生まれけむ」
1992年

大会

第3回福祉文化現場セミナー
於：ジョージが丘三ホーム（群馬県）

第4回福祉文化現場セミナー
於：「ゆきわりそう」小さな家（群馬県）

「自然の中で障害者の生活を考